



つながる

令和5年9月4日
特別支援教室拠点校
江戸川区立北小岩小学校
校長 藤島 寿晴
特別支援教室「つながる」
巡回指導日より No.5

夏休みが明けて9月に入り、少しずつ秋の気配を感じられる季節になってきましたが、日中はまだまだ日差しが強いことも多いですね。こまめに水分補給をするよう意識していきましょう。

一人一人が力を発揮できるように、また、明るく充実した毎日をご過ごせるよう支援していきます。2学期も引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

試した時点で大成功！！

夏休み中の7月28日にイトコサガシ代表の冠地情先生をお招きして、コミュニケーション力を高める研修を行いました。参加してくださった方、ありがとうございました。

コミュニケーションは自然に身に付くものではなく、自分自身で試行錯誤をしながら身に付けていくものです。場を設定しスモールステップで試行錯誤を積み重ねること、「話すこと」「聞くこと」を楽しむことを目的にワークショップを行いました。なにより、本人が「試した時点で大成功！！」と感じる研修会でした。参加者の皆さんが笑顔で楽しみながら体験することができました。

指導の中でも話したり関わったりする楽しさを感じるような経験を増やしていきたいと思います。

今回は実際に研修の中で行ったアイスブレイクを2つ紹介します。



① マジョリティーを探せ！

多数派の意見を考えることで空気を読む・他の人との違いを楽しむ

- ・輪になって座り、リーダーがお題を出す。
- ・全員で10秒間その場の多くの人が言いそうな答えを考える。
- ・リーダーがもう一度お題を言って確認する。そして「セーの」で考えた答えを一齐に言う。
- ・答えを振り返り、楽しかったまたはよかったことや、なぜそう答えたのか、ほかの答えはないかを話し合う。

② イトコサガシ

心から相手を応援して自分でも応援してもらい喜びを実感する

- ・30秒間で応援の言葉（言われて嬉しい言葉）を考えて発表する。
- ・輪になって座り、一人ずつ順番にリーダーになる。
- ・リーダーはホワイトボードに書かれた応援の言葉を一つ選んで参加者に伝える。
- ・リーダーが「セーの」と掛け声をかける。
- ・参加者全員で選んだ言葉をリーダーにプレゼントする。
- ・振り返りで感想を話し合う。

講師の冠地情先生

1972年生まれ。2009年10月に「イトコサガシ」を立ち上げ、発達障害当事者としての経験を生かした「生きづらさ」を抱える人たちの支援を開始。おもな活動はコミュニケーション力の上を目指すワークショップの開催で、これまでに43都道府県で実施した実績があり、新聞・雑誌・テレビなど多数のメディアで紹介された。現在も就労支援機関、特別支援学校、大学、企業研修などの場でワークショップの開催や講演にあっている。

個人面談のお知らせ

日時：10月2日～11月10日

詳しい内容は追ってご連絡します。

保護者会のお知らせ

日時：9月16日（土）14時～15時

場所：北小岩小学校体育館

もちもの：スリッパ、名札

※ご質問、ご相談がありましたら、各担当教員にお問い合わせください。